

基本計画					予算科目				実施計画整理番号	
基本政策	テーマ	施策	展開	事業名	款	項	目	事	事業名	総合戦略整理番号
2	2	1	1	こどものインフルエンザ予防接種費用助成事業	4	1	2	1	予防接種事業	

事務事業の概要									
事業目標【だれ・何】を【どういう状態】にするか					活動内容(目標を達成するため何を行うか)				
予防接種法に基づくB類疾病に該当するインフルエンザにおいて、予防接種の対象者を任意接種の対象である乳幼児を含む15歳までの若い世代も含めるなど、対象者を拡大し、予防接種率を向上させることで、更なるインフルエンザの感染予防、重症化予防、感染症のまん延防止を図る。					生後6か月以上中学3年生以下の方に対し、インフルエンザ予防接種費用の一部を助成する。 ・住民への周知(ウェブサイト掲載、広報、個別通知等) ・接種に関する個別相談 ・医師会との調整				
活動指標	生後6か月以上中学3年生以下の方に対するインフルエンザ予防接種費用の一部助成の件数				成果指標	市民のインフルエンザ予防接種接種率60%以上			
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯		<input type="checkbox"/> 団体(民間)		<input type="checkbox"/> 団体(公共)		<input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> その他( )
内容	①		②		③				
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 負担金・交付金		<input type="checkbox"/> その他( )
内容	①		②		③				
態様	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 任意	実施根拠	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	法令計画等名称	① こどものインフルエンザ予防接種費用助成事業要綱(作成予定) ② ③		
<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 義務								

事務事業を構成する個別取組				
No.	内容	実施年度		
		R3	R4	R5
①	こどものインフルエンザ予防接種費用助成の実施	○	○	○
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				
⑨				
⑩				

個別取組に係る費用で積算の基礎となるもの及びその数値					
No.	内 容	数 値	No.	内 容	数 値
1	1人当たりの助成金額	3,000(上限)円	6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		

区分	単位	R3年度		R4年度		R5年度	
		要求額	計画額	要求額	計画額	要求額	計画額
事業費	千円	33,243		33,243		33,243	
財源内訳	国補助	千円					
	県補助	千円					
	市債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	33,243	0	33,243	0	33,243

特定財源の名称と補助率等	
--------------	--

No.	個別取組の内容	R3 事業費	費用の節別内訳			説明及び積算等の基礎
			節	金額	内容	
①	こどものインフルエンザ予防接種費用助成の実施	33,243	7	23	報償費	951円×6H×2人×2日
			10	19	需用費(消耗品費)	印刷用紙278円×20包(500枚)×3種×1.10
			10	221	需用費(印刷製本費)	予診票8.5円×18,000枚×1.10 窓あき封筒4.7円×10,000枚×1.10
			11	940	役務費	郵便料94円×10,000枚
			12	32,040	委託料	3,000円×10,000人×0.6(1回目接種分) 3,000円×7,800人×0.6(2回目接種分)
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
事業費計		33,243				

No.	個別取組の内容	R4 事業費	費用の節別内訳		説明及び積算等の基礎	
			節	金額		内容
①	こどものインフルエンザ予防接種費用助成の実施	33,243	7	23	報償費	951円×6H×2人×2日
			10	19	需用費(消耗品費)	印刷用紙278円×20包(500枚)×3種×1.10
			10	221	需用費(印刷製本費)	予診票8.5円×18,000枚×1.10 窓あき封筒4.7円×10,000枚×1.10
			11	940	役務費	郵便料94円×10,000枚
			12	32,040	委託料	3,000円×10,000人×0.6(1回目接種分) 3,000円×7,800人×0.6(2回目接種分)
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
事業費計		33,243				

No.	個別取組の内容	R5 事業費	費用の節別内訳		説明及び積算等の基礎	
			節	金額		内容
①	こどものインフルエンザ予防接種費用助成の実施	33,243	7	23	報償費	951円×6H×2人×2日
			10	19	需用費(消耗品費)	印刷用紙278円×20包(500枚)×3種×1.10
			10	221	需用費(印刷製本費)	予診票8.5円×18,000枚×1.10 窓あき封筒4.7円×10,000枚×1.10
			11	940	役務費	郵便料94円×10,000枚
			12	32,040	委託料	3,000円×10,000人×0.6(1回目接種分) 3,000円×7,800人×0.6(2回目接種分)
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
事業費計		33,243				

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。</li> <li>・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	予防接種法上、定期予防接種事業の実施主体は市町村である。総合計画においては、予防接種は感染症の流行を阻止すると共に、市民一人ひとりの健康を守る為の重要な要素であると位置づけている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の症状は区別が困難であり、同時流行した場合、医療機関が逼迫する恐れがあることから、対象者を拡大し、接種者を増加させることでウイルスの感染拡大防止に繋げる。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図した成果は確実に得られるか。</li> <li>・類似の目的を持つ事業はないか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	こどもは所属集団に所属し、感染予防対策が徹底しにくいことで、感染を拡大させるリスクが高い。こどもの感染を予防するという事は、ウイルスの流行を抑える目的があり、高齢者の感染及び重症化予防にも繋がる。また、こどもが感染し医療機関で対応する際、医療処置を実施するにも小児科を第一標榜としている医療機関が少なく、医療機関の負担は大きいことから、医療機関の負担軽減の効果も期待される。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。</li> <li>・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	現在、定期接種対象者である65歳以上の方に対し、長生郡市一律で3,000円の費用助成を実施。本事業においても公平性を保つ必要があり、かつ長生郡市での統一が必要であることから費用助成の額を減らすなどの削減の余地はない。更に助成の対象や助成額を拡大した場合には、コストの増加が見込まれる。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今実施しなければならない理由。</li> <li>・実施しない場合の問題点。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	新型コロナウイルスの終息がすぐには見込めないこと、インフルエンザと同時流行の危険性が継続することが見込まれる為早期実施が望ましい。実施しない場合、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行による感染拡大及び医療機関が逼迫することが想定される。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう市民要望があるのか。</li> <li>・受益者負担は適正か。</li> <li>・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。</li> </ul>	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
A	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	市民や、予防接種を実施している医療機関からも多くの要望がある。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述</li> </ul>	
<p>長生郡市の実施状況(実施済:長生村、睦沢町、白子町、長柄町、長南町 ※一宮町は次年度以降実施予定)                  県内市の実施状況(千葉市、浦安市、柏市、松戸市、我孫子市、流山市、成田市、佐倉市、銚子市、市原市、いすみ市等)</p>			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性	
	評価	◎評価理由
	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
	■政策調整会議による評価	
評価	◎評価理由	
C	最も感染予防が重要であると考えられる今年度に事業を実施せず、令和3年度以降に実施することは妥当性、緊急性の面で整合が取れないことから、掲載しないものとする。	
■庁議による方針		
評価	具体的な方向性	
A	3か年実施計画に掲載するものとする。 ただし、今年度からの事業実施を長生郡医師会と協議すること。	